

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1749号	氏名	Blanquita Blanco De Guzman
論文審査担当者		主査教授	中村三千男
		副査教授	関根一郎
		副査教授	中込 治
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、<i>Helicobacter pylori</i> の空胞化毒素(VacA)の中の m2VacA の活性化とその受容体の同定を目的としており、研究目的は明確である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 自ら精製した m2VacA を、これも自ら精製した m1VacA と常に対比しつつ、空胞形成やフローサイトメトリ解析を行っている。また、受容体の同定には免疫沈降法を用い、リガンド側抗体と受容体側抗体を交互に用いており、万全である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 m2VacA が m1VacA と同様、酸やアルカリ処理で空胞形成・細胞結合活性が増強され、RPTP が m2VacA の受容体になっていることを明確にした。また RPTP<math>\alpha</math> では、おそらくアミノ酸配列一次構造以外の高次構造もその受容体機能を規定していることを示唆しており、m2VacA と RPTP<math>\alpha</math> との相互作用機構への新たな展開を示唆している。</p>			
<p>以上のように本論文は m2VacA の毒性発現の分子レベルにおける機序の一端を解明したものであり、包括的な機序解明の基礎となるものである。したがって審査員一同は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			